

TRIZ普及リーダをサポートする 会議ツールの開発

9windows (新製品アイデア会議用) ボード

2. ツールの開発 「9windowsの手順を直観的にガイドするホワイトボード」

TRIZ普及リーダたちからのヒアリングの内容をもとに、
彼らをサポートする「会議ツール」の企画・制作を試みた。

ヒアリングの結果、以下の要件が見出された

- 1、会議でよく使うタイプの道具であること
⇒ ポストイットか、ホワイトボードを
- 2、会議をガイドしてくれる手順が付与されていること
⇒ TRIZ手法を、理解容易な単作業で示し、手順を明示
- 3、新製品構想向きのツールであること
⇒ 「改善」よりも「創新」をTRIZに期待

試作とテスト使用を繰り返し、理想形を模索した。
最終的には、9windowsを、デザインしたホワイトボード状の
アイデア会議専用の会議ツールとなった。

余談：
採用しなかったけれど
可能性のあるアイデア
「TRIZポストイット」

1. 背景 「TRIZを社内のアイデア会議に使いたい、という声に応えたい」

公開型のTRIZ分科会を5回にわたり実施。(2008年7月～12月)

構成：座学(30分)＋**アイデア創出の実践**(90分)

内容：1「発明原理」、2「技術の進化トレンド」、3「理想解」、4「属性分析」、5「9windows」

参加者：企業(経営者、開発部)＋公的機関(専門家)：累計50名

参加者には企業の経営者・開発部門トップの方も多かったため、
後に社内のアイデア会議でTRIZ活用を試みた、との報告が複数あった。

ほとんどのケースでは、会議参加者はTRIZの知識が全く無く、
TRIZ技法を用いてアイデア創出会議を行うことは、苦労が多かった、と。

どうすれば、アイデア会議で 効果的にTRIZを活用できるのか。 そのヒントを得るため、課題や要望をヒアリングした。

3. 使い方 【9windows(新製品アイデア会議用)ボード】の使い方



■ こんなときに便利

- ・新製品アイデア会議において、
効果的な発想プロセスを導くことが
できます
- ・新入社員など経験の浅い人でも、
過去の事例から導き出された未来予測と
新製品のアイデアが生み出せます

- 概要 新製品を発案する会議の時に、本ボードをテーブルに広げ、メンバーでボードを囲みながら、9つある枠を埋めるように順に発案していくことで、効果的な新製品プロセス^(※)を実践できます。
本ボードを用いれば、誰でも簡単に「過去10年間の技術の進化は、今後5年間の進化と同程度」という特性から、5年後を分析的に予測し、実現性の高いアイデアを考案することができます。
(※ TRIZ理論の9windowsという手法をベースにしたものです)

現在と過去について書く
(1～6)

変化傾向から
未来を発想する (7、8)

それらを組み合わせた
製品を構想する (9)

4. ツールの効果

「TRIZの初心者が、アイデア会議を実践する道具になりえるか」

精密機器メーカーの新人研修(新製品構想プロジェクト)にて、ツールをアイデア創出作業に使ってもらい、使用感を回答してもらった。(合計47名:8グループ構成)。無記名式、「良い面」「悪い面」「その他」を記述式するアンケート。結果、右図(⇒)のようになった。(「その他」は、振り分け)

1 時間の視点 (21)

過去と現在をよく把握できる(12)、変化・移り変わり・傾向・発展が見やすい(9)

2 サイズ、情報デザイン (16)

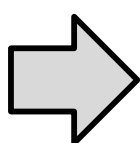
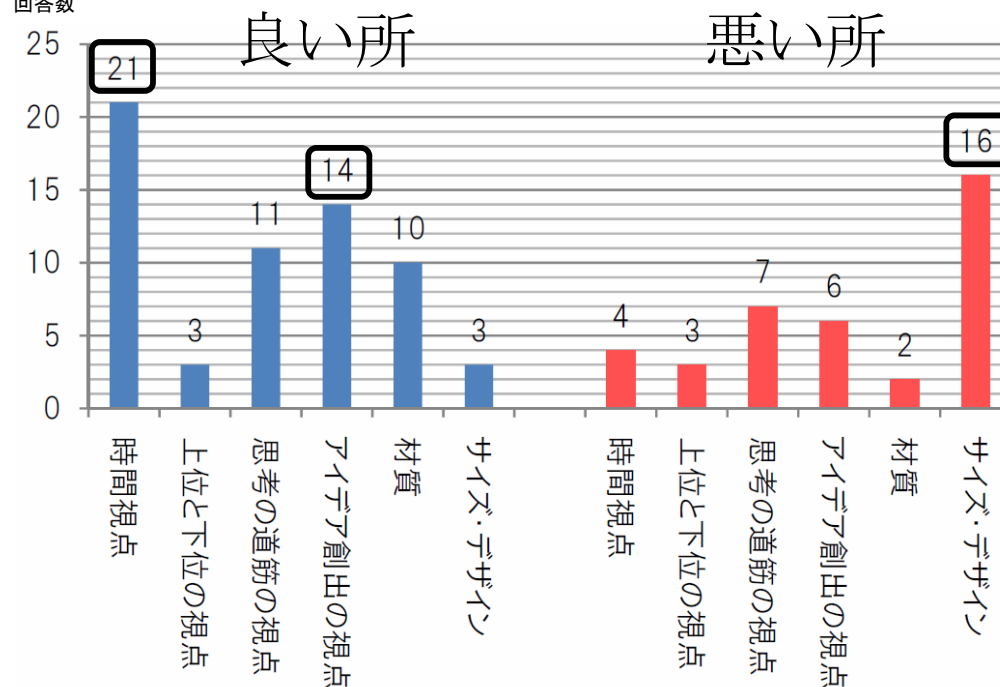
マスの書き込み有効領域が小さい(12)、中途半端な時期のものを書き込めない(2)、サイズが大きすぎ(1)、5年後の「年」は空欄の方がいい(1)

3 アイデア創出の促進 (14)

未来を予測・想像しやすい、先が見えやすくなる(6)、枠毎にテーマが定まってい意見が出やすい(4)、順序よくやると意外なところからアイデアが出る、並べて書き出すと意外と出る(2)、他(2)

良い点は「時間の視点」で考えられることが最多、ついで多いのが「アイデア創出が促進される」ことについてであった。一方、悪い点は「サイズや紙面上の情報デザイン」に関するものが多かった。自由記述では、「将来、何年か実際に仕事をした後にまたやりたい」(ボードの)矢印の間に変化を書けるようにできたら良い」という発展的なものなど。

回答数



(本アンケート結果は参考データに過ぎないが、それを一定の目安として解釈するに)当初の目的である「TRIZの初心者が、アイデア会議で効果的にTRIZを活用できる道具を提供したい」を一定のレベルで満たすツールが開発できたと考えられる。

5. まとめ

我々のツール開発は、本来の目的である「いかに多くの人にTRIZを使ってもらおうか」という千里の道の一步に過ぎない。今後も、ツールの企画・提供や、そのワークショップなどの提供を通じ、TRIZの発想視点を養ってもらえるように、活動を展開する。

その中の何割かの人が、より本格的な知識を求めてTRIZを学び、製品開発の本格的な力を身につけてもらえたら幸いである。

地域から次々と新製品・新事業が生まれることを願い、当会は今後も地道に活動を続けて行きたい。

【より詳しい情報は】

「アイデアプラント」公式サイト
⇒ <http://www.ideaplant.jp/bp/>

【150枚、限定で作りました】

「デュナミス」又は「Amazon」
⇒ プレイン・ペーパー02

【筆者連絡先】

宮城TRIZ研究会 会長
／アイデアプラント 代表
石井力重(いしい りきえ)
rikie.ishii@gmail.com

10年前の上位システム

- ・ 取り巻く環境
- ・ 社会インフラ
- ・ 使う人



6

現在の上位システム

- ・取り巻く環境
- ・社会インフラ
- ・使う人



3

5年後の上位システム

- ・取り巻く環境
- ・社会インフラ
- ・使う人



8

10年前の製品



4

現在の製品



1

5年後の主流商品
(新商品アイデア)

9

10年前の下位システム

- ・要素技術
- ・構成部品
- ・材料

5

現在の下位システム

- ・要素技術
- ・構成部品
- ・材料

2

5年後の下位システム

- ・要素技術
- ・構成部品
- ・材料

7